

南小だより



令和5年1月24日
亀山市立亀山南小学校

No.21

回覧

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。学校ではアンケートの集約をもとに今年度の学校教育活動の振り返りを行っています。学校経営方針に掲げた重点目標ごとにアンケート結果等を指標としつつ自己評価し、学校運営協議会（2月9日予定）でその学校自己評価について関係者評価をしていただきます。まずは、アンケート集計結果をみなさまにもご報告させていただきますので、ご覧ください。（裏面参照）また、今年度もQRコードを活用した電子化により実施しました。ご協力ありがとうございました。



学校教育活動を振り返って…（学校評価アンケートより）

アンケートはそれぞれの設問に対して4段階尺度A（そう思う）B（ややそう思う）C（あまりそう思わない）D（そう思わない）での回答をいただきました。肯定的評価（A+B）の年度比較を掲載しましたが、今年度の“A評価の割合”も示しました。結果をより真摯に受け止め、A評価を増やすことを学校の課題とするためです。はっきりと自信をもって「そう思う」という回答をいただけるよう学校としても取り組んでいきます。

＜児童のアンケート結果から＞

「本をよく読んでいる」の評価は横ばいでしたが、他はすべて大きく低下しています。特に「学校が楽しい」の評価は88%（A評価は59%）に留まっており、たいへん深刻に受け止めています。必要に応じて担任だけでなく、専科教員や養護教諭、管理職などが授業に入る複数指導対応を引き続き行っていきます。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどとも連携し、困り感をもつ子への声かけなど、個に寄り添った指導・支援をさらに心がけます。今後、学習規律を整え、ICT機器の更なる活用による視覚支援の充実に努め、心身ともに健やかな子どもが育つ学校となるよう学校経営の改善に努めます。

＜保護者のアンケート結果から＞

児童については「体力」「友だちと仲良く」「朝ごはん・朝うんち」の項目は、微増及び横ばい傾向であるが、多くの項目で評価の低下が見られます。特に、「学校に行くのが楽しみ」「学習理解」「読書」が大きく低下しています。また、学校に対しても、「防災、健康や安全の指導」「児童への指導面」「学校のコミュニケーション力」などの項目で昨年を下回る評価となっており、危機感をもって、教育内容や指導のあり方を見直し、感染対策に配慮した上で、コミュニケーションを大切にされた学校づくりにさらに取り組むことが大切であると考えます。



＜地域のアンケート結果から＞

学校運営協議会委員と各ボランティアの方々からアンケートをお願いしました。「教育環境の整備」「地域との連携」などの項目で評価の向上が見られました。コロナ禍ではありましたが、「地域ふれあい集会」など、感染対策を行った上で行事や活動をさらに多く実施できたことがよかったと考えられます。今後も、学校運営協議会を核として熟議を重ねていきます。

＜教職員のアンケート結果から＞

ほとんどの項目で評価が低下しており、現状に対する問題意識が高い状態です。子どもたちを元気な明るいあいさつで迎え、「子どもの名前を呼ぶ」「教室の中に『ありがとう』を増やす」という取り組みをさらに進め、自信をもってA評価ができるよう取り組んでいきます。また、「働き方改革」に伴う総勤務時間の縮減の課題なども存在しており、引き続き改善に努めていきます。